



——大使としてオフアールがあったとき、どのような心境でしたか？

まず初めは驚きましたね、思ってもみなかったことなので。やはりずっと伊奈町に住んできましたし、たくさんさんの思い出を経験してきた思い入れがある町なので、本当に光栄です。

——大使としてどのような活動をしていきたいですか？  
私はマリンバ奏者なので、伊奈町の魅力を、音楽を通して発信していきたいと考

えています。音楽は、年齢も国籍も関係なくどなたでも楽しめるものなので、伊奈町のみなさんの身近な存在として気軽に音楽に親しんでいただくと同時に、演奏活動などを通じて伊奈町のPRに貢献していきたいと考えています。

——坂口さんが思う、伊奈町の良いところは？  
やはり「自然が豊かなところ」と「人が温かいところ」ですね。私の周りの方々も、往々にして「伊奈

町の住みやすさ」を口にしていきますし、そのように町民に愛されている町って、とても素敵だと思います。

——マリンバを演奏し始めたのはいつごろですか？

中学校の吹奏楽部の入部祝いで先輩たちが演奏をしてくださったときに、かわいい女性の先輩がドラムを演奏していて、その姿を見て「カッコいい！」と思ったんです。まず、それが打楽器の道に進むことになったきっかけですね。

そして、中学3年生のとき、音楽大学に行くために、音楽科がある高校を受験しようと思ったのですが、入試のソロの試験科目が、打楽器専攻だとスネアドラム（小太鼓）かマリンバの二択だったんです。どちらかを考えたときに「ドレミがあるマリンバにしよう」と決めて、その頃からマリンバを練習し、コンクールに出たりし始めました。

——実際にコンクールに出場されたいかがでしたか？  
中学・高校でもこれといった結果を出せませんでした。そのような中、コンクールで出会った同世代の姿が、私にとっては成長の大きな原動力となりましたね。出場者の中には、小学生のころからマリンバをやっているという上手な子たちもいたのですが、その子たちとのテクニクの差が、私はものすごく悔しくて、その姿に刺激を受けて、より一層熱心に練習に励みました。結果として徐々にテクニクが身につけて、大学入学後にはコンクールで入賞できるようになりました。

今もまだまだではありませんが、「継続は力なり」だと感じています。

——ご自身の、今後の目標はありますか？

できる限り長く、健康でマリンバを演奏し続けることです。これまで、家族にもいろいろとサポートしてもらって本当に感謝の気持ちでいっぱいなので、私がマリンバを続けていくことが恩返しという意味も込め

て。あとは、マリンバ自体まだまだポピュラーな楽器ではないので、ピアノと同じくらい知っていただけよう、頑張りたいですね。

——最後に、町民の方へメッセージをお願いします。

これから伊奈町の魅力を、SNSや演奏活動を通じて発信していきたいと思っておりますので、温かく見守ってくださいませよう、どうぞよろしくお願ひします。



Instagram



ホームページ



Twitter



# 盆栽とは、「過酷な環境で生きてきた木の生い立ち」そのものです

——大使としてオフアアがあつたとき、どのような心境でしたか？

とてもありがたいことだと思いましたがね。大使として選ばれた以上は、町のお役に立つことはできる限り何でもしていききたいですね。

——大使としてどのような活動をしていきたいですか？  
うちには、国内外からたくさんの方がいらつしやるので、そのような方々に少しでも「伊奈町は良いところですよ」と勧めていき

いですね。例えば、うちにいらつしやつた方に町の広報紙を配付することで「伊奈町」というブランドを発信できたらと考えています。

——木村さんが思う、伊奈町の良いところは？

私が50年前に伊奈町に住んだきっかけでもあります。やはり「自然が豊かです。どこか静かでのどかなまち」「平和なまち」というところですね。私自身、そのようなどころで盆栽の仕事をしたいという思いがありま

したので、本当に良いところを見つけたなと思います。

——木村さんは現在、盆栽のどのようなお仕事をされていらつしやるのですか？

現在は、主に盆栽の創作活動に取り組んでいます。そのほか、依頼を受けて盆栽のメンテナンスを行っています。

盆栽というのは生き物です。絶えず成長するもので、同じ姿で5年10年ともつことは絶対ないんです。手を入れて綺麗にして、せいぜい3〜5年。この盆栽の管理がとても難しいんです。日本全国から、年間に少なくとも千件以上の依頼は受けていますね。

——盆栽は、まさに私たち人間同様、生き物なのですね。

そうですね。盆栽というのは本当に奥が深いもので、例えば一つの盆栽を見ても、この樹はどんな環境で育っ

てきたのか、その生い立ちがわかるほどです。

盆栽になる前の樹は、何百年と自然と闘いながら過酷な環境の下で、風雪に耐えて生きてきたものがほとんどです。盆栽が紆余曲折しているのも、過酷な自然の中で生きてきたからこそ姿なんです。

——盆栽の魅力の神髄ですね。

そうなんです。過酷な環境から盆栽として綺麗に手入れをしてもらつて、ようやく鉢の中に入ることができたことで、その樹はホツとしていきますよ。だから、「この盆栽はどんな生を送ってきたのか」「どんな環境で育ってきたのか」ということを感じながら盆栽に触れていただければ、もっと深く盆栽の魅力がわかつていただけたらと思いますね。

——最後に、町民の方へメッセージをお願いします。

私自身、常に向上心を持ち、今の仕事を続けられる限り「生涯現役」という目標を掲げています。今後ますます高齢者が多



くなる時代ですが、やはり一人ひとりが元気で長く生きられる社会が理想的です。盆栽を通じて町民の方々の生涯学習に貢献したり、命の大切さを伝えていくなかで、広く大使として活動をしていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願ひします。

★伊奈町魅力発信大使について、詳しくは町ホームページをご覧ください。

